

2019年度大学院理学研究科学生便覧の訂正について

2019年度大学院理学研究科学生便覧、P6_4. 理学研究科教育プログラム_1)履修方法等_(A)履修方法_2. 博士前期課程_a.、d.、および P12_(B)各専攻履修上の注意_6. 宇宙地球科学専攻_A. 前期課程_a. について、宇宙地球科学専攻の修了要件単位数を下記のとおり変更いたします。

P6~7

4. 理学研究科教育プログラム

1) 履修方法等

(A) 履修方法

1. 履修方法については「(B) 各専攻履修上の注意」を熟読してください

2. 博士前期課程

- a. 「専門教育科目」、「高度教養教育科目」、「高度国際性涵養教育科目」の3つの科目群より単位の修得が必要です。各科目群の必要単位数は、下記表および「(B) 各専攻履修上の注意」を確認してください。

博士前期課程修了要件単位数

	数学	物理学	化学	生物科学	高分子科学	宇宙地球科学
専門教育科目	28	30	30	28	32	27 19
高度教養教育科目	1	1	1	1	1	1
高度国際性涵養教育科目	1	1	1	1	1	2
自由選択	0	0	0	2	0	0 8
合計(単位)	30	32	32	32	34	30

各科目群の構成科目は以下のとおりです。

- (1) 専門教育科目は次の科目により構成されます。
 - (ア) 自専攻の専門教育科目
 - (イ) 研究科共通科目のうち専門教育科目として開講される科目
- (2) 高度教養教育科目は次の科目により構成されます。
 - (ア) 研究科共通科目のうち高度教養教育科目として開講される科目
 - (イ) 他専攻の専門教育科目
 - (ウ) 他研究科の専門教育科目・コミュニケーションデザイン科目・COデザイン科目・全学教育推進機構が開講する学際融合教育科目・博士課程教育リーディングプログラム科目のうち高度教養教育科目として開講される科目
- (3) 高度国際性涵養教育科目は次の科目により構成されます。
 - (ア) 自専攻の高度国際性涵養教育科目
 - (イ) 研究科共通科目のうち高度国際性涵養教育科目として開講される科目

- (ウ) 他専攻の高度国際性涵養教育科目
- (エ) 他研究科の高度国際性涵養教育科目・マルチリンガル教育科目・
グローバルイニシアティブ科目・博士課程教育リーディングプログラム科目のうち
高度国際性涵養教育科目として開講される科目
- * 自専攻専門教育科目のうち、高度国際性涵養教育科目にも該当する科目の単位を修得した場合は、高度国際性涵養教育科目の単位として認定されます。ただし、高度国際性涵養教育科目の修了要件単位数が満たされている場合は、専門教育科目の単位として認定されます。
- b. 上記の科目のうち、(2)(ウ)または(3)(エ)に属する科目を履修する場合は、指導教員の許可を必要とします。履修登録前に指導教員と相談した後に、「履修登録確認表」にある該当科目に指導教員の押印が必要です。
- c. 数学・生物科学・高分子科学専攻の博士前期課程の学生が、自専攻の博士後期課程配当科目を履修し、修了要件単位として認定を受ける場合も、指導教員の許可を必要とします。上記 b. に準拠した手続きを行ってください。ただし、物理学、化学、宇宙地球科学専攻については不要です。
- d. 生物科学専攻および宇宙地球科学専攻の自由選択は、専門教育科目、高度教養教育科目、高度国際性涵養教育科目のすべての科目が対象となります。また、生物科学専攻では、科学技術論 A・Bの修了要件単位としての認定は合計で2単位を限度とします。科学技術論 A・Bの単位を3単位以上修得しても、高度教養教育科目および自由選択の修了要件単位として認められるのは2単位までです。

P12

(B) 各専攻履修上の注意

6. 宇宙地球科学専攻

A. 前期課程

- a. 前期課程においては、総修了要件単位数30単位以上を修得しなければなりません。その内訳として、専門教育科目の2719単位、高度教養教育科目の1単位、高度国際性涵養教育科目の2単位、自由選択の8単位が修了要件単位として認められます。宇宙地球科学専攻では、「宇宙生命論」を高度国際性涵養教育科目として提供しています。単位は研究科共通科目・他専攻科目等を修得することもできますが、例えば高度教養教育科目については何単位修得しても、1単位のみ修了要件単位として認められます。

(問い合わせ先)

大阪大学理学研究科大学院係

TEL: 06-6850-5289

FAX: 06-6850-6777

E-mail: ri-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp